

【桜】

日本の春を代表する「桜」。広辞苑によると桜と菊が日本の国花とされています。では「食用のさくらんぼの木」と「お花見で見る桜の木」の違いを説明できますか？

日本の観賞用の桜のほとんどがソメイヨシノという品種ですが、これは接ぎ木によって全国に植えられたため、全てがクローン個体なので受粉ができず実を付けません。たまに近くの別の品種の桜と受粉して小さな実を付けているソメイヨシノもありますが、さくらんぼのように美味しくはないので実を食べるのはおすすめしません。

関東では3月下旬から4月上旬頃が桜の見ごろとなるので、4月には桜の花びらが散り始めていることも多いですね。そんな散りゆく桜の花びらを使って遊んでみましょう！



あそんでみよう！

【準備】

- ・桜の木があり、広い場所が望ましい。花びらが散る時期に行く。
- ・時間を計測するためのストップウォッチやタイマー等を用意する。
- ・風呂敷のような布を用意する。
- ・1チーム5人程度になるようチーム分けをしておく。

【進め方・ルール】

- (1) 制限時間を決めて、全員で一斉に舞い落ちる花びらを空中でキャッチする。
- (2) チームで合わせて何枚キャッチできたか数える。
- (3) 作戦会議タイムをとり、チームごとに作戦を考える。(担当エリアを決める等)
- (4) 作戦を活かして再度チャレンジして、優勝チームを決める。
- (5) 次にチームごとに風呂敷を1枚渡し、四隅をそれぞれ持つ人と監督役を決める。
- (6) 監督のみ、風呂敷でキャッチした花びらを手で回収することができる。監督は歩くことはできないので、花びらを回収してほしい時は監督のところへ風呂敷ごと持っていく。風呂敷で花びらをキャッチしても、監督が回収する前に花びらを落としてしまったらカウントされない。風呂敷を持つときは片手のみ使って良い。
- (7) 制限時間を決めて、チームで力を合わせて風呂敷で花びらをキャッチする。これも練習→作戦会議→本番の流れで行う。
- (8) 制限時間終了時、各チームの監督が持っている花びらの枚数を競う。

※上を見ながら動き回ることによって衝突が起きやすいので、フィールドの広さや年齢に合わせて「走らないルールとする」「入れ替え制にする」等配慮する。

※フィールドの広さに対して人数が多い場合はトーナメント戦とする。

※大人の場合は風呂敷のような布ではなく新聞紙等にとすると難易度が上がる。